



令和6年 4月29日 **月祝** 丹波ゆめタウン ポップアップホール 669-3467 兵庫県丹波市 氷上町本郷 300

上映時間	通常上映会 10:00 ~ (開場 09:30)	本編 106分 約 60分	席数 220席 全席自由席 階段席です 飲食はご遠慮ください
	プレミア上映会 13:00 ~ (開場 12:30)		
	15:00 ~ スペシャルトークセッション 13:00 ~ の本編終了後に開催		
ゲスト	大阪市立大空小学校 初代校長 木村 泰子 先生	参加には映画チケットの半券が必要です。	☆チケットの払い戻しは承っておりません。☆当日はポップアップホールにて販売します。完売の場合はご容赦ください。☆中学生以下の方のみの観覧は、保護者の同意が必要です。
チケット取扱	丹波ゆめタウン1階 サービスカウンター	料金 □一般 900円 高校生以下 無料 予め無料チケットをお求めください	問 0795-82-8100 又は サービスカウンター お電話でのチケットのお取り置き、ご予約・受付はできません。

みんなの学校



ウイング神姫の路線バスを使って
公共交通を使って **お帰りのバス乗車券**
ゆめタウンへ 出かけよう! **プレゼント!**





すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



学校が変われば、地域が変わる。 そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。



映画は、日々生まれかわるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。

驚いた！ ここには、ありのままの公立小学校の魅力が、大胆に惜し気もなく躍動している。人間が発達可能体であることを、限界なしに教えてくれる。それにしてもスゴイ記録映画が完成したものである。学校と教育の未来に、希望が湧く映画である。

——尾木直樹（尾木ママ）教育評論家

一緒に学ぶという選択肢を考えられなかった人たちに、こんな方法もあるんだということを知ってほしいと思いました。

——20代・女性（大学院生）

平成25年度（第68回）文化庁芸術祭大賞 受賞理由

他の地域では厄介者扱われていた転校生が、教師と同級生、そして地域が包み込むことで、素直で心優しい子供に成長していく姿は、見ている者の心を熱くする。大空小学校の試みは、上からの教育改革とは一線を画す、現場からの教育改革でもある。

子供たちひとりひとりが能力に応じて大切にされていること、手がかかる子もかからない子もいるけど平等に愛されていること、そういう学校が地域の中で理解されて存在していること、それらのことにとっても感動しました。

——細川昭々（漫画家・イラストレーター）

minna-movie.com

障がいがあろうとなかろうと、外国から来た子どもであろうと、金持ちだろうが貧困だろうが、みんな一人の子どもです。その一人ひとりの子どもが、子ども同士で学び合う、これが学校だと思います。

この映画を通して、すべての子どもに居場所がある学校をみんなで創るきっかけにしたいと思い上映することにしました。



まなびのかたち研究所